

当事務所では、事業完了した国営事業地区のフォローアップを行いつつ、新たな国営事業の創出のための各種調査を実施しています。

今回は、令和4年度に国営事業の創出に向けた調査を実施する3つの地区を紹介します。



調査地区位置図

坂井北部地域（福井県あわら市、坂井市） 図①

本地域の基幹的農業水利施設は、造成されてから約40年が経過し、特に地区の心臓といえる坂井北部丘陵揚水機場ではポンプ設備の老朽化が進行しており、維持管理に多大な費用と労力を要していることから、令和元年度より事業構想検討のための調査に着手しています。

令和4年度は、丘陵揚水機場と新江導水路の更新対策を検討するとともに、揚水機場の省エネ対策、小水力発電の導入可能性などを検討し、低炭素型水利システムへの移行を目指した事業構想をとりまとめる予定です。



新江導水路 隧道区間の湧水

加賀南部地域（石川県小松市、加賀市） 図②

本地域の水利施設は、国営干拓事業で造成されてから50年程度経過する施設が多く、老朽化が進行するとともに、近年の降雨形態の変化による湛水被害の増加などにより、水利施設の機能低下が懸念されていることから、今年度より事業構想検討のための調査に着手しました。

令和4年度は、排水解析により現状の排水施設の機能低下の状況を把握するとともに、関係機関とも調整して、将来の地区の営農振興方策の検討などを実施する予定です。



平成29年豪雨時の湛水状況

氷見地区（富山県氷見市） 図③

本地区の基幹的農業水利施設である十二町潟排水機場は、除塵機レーキチェーンの不具合やコンクリート構造物のひび割れ等があり、施設全体の故障リスクが高まっていることから、平成30年度より原因究明のための調査を実施しています。

これまでに、排水解析、機能診断や耐震診断などの結果をもとに、更新対策や耐震対策、ポンプ能力向上による予防保全対策からなる整備構想をとりまとめており、令和4年度は、施設長寿命化計画策定のための調査などを実施する予定です。

十二町潟排水機場
業務紹介